

令和7年度第2回青森市民図書館協議会会議概要

令和7年度第2回青森市民図書館協議会は書面により開催いたしました。

- 1 開催日 令和8年3月6日(金)
- 2 参加委員 相馬克則 会長、長尾亜希子 委員、松居司 委員、
佐々木敦子 委員、西塚弥生 委員、鈴木愛 委員、
中園裕 委員、手塚理香子 委員
伊東暁生 委員、草野知子 委員 (10名)
- 3 案件 報告事項：令和8年度の青森市民図書館運営について
- 4 主な意見等 別紙のとおり

ご意見の概要	事務局回答
<p>2 館内事業について (2)展示事業について ・前回会議で出された意見に基づき、より多くの視点から展示が行われていて大変良いと思います。継続して行ってほしい。 (4)廃棄図書の無償譲渡について ・こちらもぜひ続けて行ってほしいです。できるなら規模拡大を考えてほしいです。</p> <p>3 館外事業について (2)学校支援について ・現場のニーズに合わせて継続して行ってほしい。 ・各校の学区(地域)の歴史に伝える支援策を検討すればいかがでしょう。</p>	<p>【館内事業について】 ○館内の展示については、今後も工夫しながら継続してまいります。</p> <p>○廃棄図書の無償譲渡については、これまでの実施結果を踏まえて、継続してまいります。</p> <p>【館外事業について】 ○学校支援については、各学校の実情に応じて今後も継続してまいります。</p> <p>○各校の学区(地域)の歴史を伝える支援について 小・中学校での地域学習の一つとして、令和7年度では5校(泉川小、浪館小、横内小、浦町中、新城中)で「学区」をフィールドとした授業を行っております。身近な地域の歴史や郷土への理解を深める観点から大変意義があるものであり、今後も学校からの依頼があれば対応していきたいと考えています。</p> <p>○また、市民図書館では、歴史教育の授業における素材選びなどについて、歴史研究の最新の研究成果などを活用できるようアドバイスを行うことも検討してまいります。</p> <p>・参考:弘前大学教育学部が中心となり発刊した『教科書と一緒に読む津軽の歴史』、『教科書と一緒に読む津軽海峡の歴史』は市民図書館で借りることができます。</p>
<p>・地元の話題に関連した展示や、第1回の協議会で話題になった絵本の展示など、魅力的だと思います。 ・駐車場のある(無料)社会教育センターなどでのイベントでは、多くの方が足を運んでいます。市図書館の駐車場が有料であることは残念だと感じます。</p>	<p>【館内展示について】 今後も魅力的な展示に努めてまいります。</p> <p>【駐車場について】 市民図書館は青森駅前の複合施設アウガ内に整備されておりますが、利用者の駐車料金については1時間までの免除となっております。それ以上の免除については今のところ変更はございません。ご理解くださるようお願いいたします。</p>

ご意見の概要	事務局回答
<p>・来館者がなかなか増えない点がいちばん気がかりです。まず来館してもらうことが大事ではないでしょうか。</p> <p>・図書館での飲み物が許可されましたが、周知徹底しているのでしょうか。</p> <p>・これから迎える暑い夏、飲み物持参で友達と「図書館で待ち合わせ」というキャッチフレーズでどうでしょうか。「涼み処」としての役割を強調するのです。図書館に来てしまえば、ついでに本もということになるのではないかと思います。</p> <p>・特集コーナーを楽しみにしています。小さなコーナーが点在しているのもいいと思います。思いがけない本との出会いの機会が増えます。</p>	<p>【水分補給について】 飲み物については、今年度から、熱中症予防のための水分補給が必要な場合に飲むことを認めています。その際は、中身がこぼれない容器を使用していただいております。館内に掲示し来館者へお知らせしております。</p> <p>【来館者増のための取組について】 ○夏場の涼み処として、これまでと同様にご利用いただきたいと考えており、SNSなども活用し周知を図ってまいります。 ○令和8年度は時代小説や読書週間関連本などのほかに、6階では「サザエさん80周年」、7階では「絶景や旅の本」、8階では「北海道新幹線開業10年記念企画」など様々に工夫を凝らした展示を計画しております。多くの方に来館していただくよう周知にも努めてまいります。</p>
<p>・館内展示は工夫が凝らされていて足をとめてポップを読んでしまいます。時代小説新着コーナーは興味深く借りて読んでいます。</p> <p>・読み聞かせおはなし会は、回数が多く実施されており、よいと思いますが、利用者を数値化してもよいと思います。デジタル化など今後図書館(本館)利用者は減ることが予想されますが、移動図書館や貸出文庫(本館以外)の利用者数も把握して対比して利用状況を見たらどうでしょうか。</p> <p>・ブックリサイクルフェアは移動図書館や貸出文庫の利用者にも活用できたらよいのではと思います。</p> <p>・会議は今年度2回でしたが、次年度は1回で開催時期2月となっておりますが、雪が心配です。</p>	<p>【館内事業について】 ○展示やおはなし会、ブックリサイクルフェアは、利用者から好評をいただいております。これまでの実施結果を踏まえて、継続してまいります。 ○参加者数など、数値化できるものについては次回会議までに検討してまいります。</p> <p>【協議会開催時期について】 今後の協議会の開催時期につきましては、積雪状況に左右されない時期を検討し調整させていただきたいと考えております。改めてご連絡いたします。</p>
<p>・ブックリサイクルフェアは友人でも多く利用していました。子供たちもいろんな本をもらえて嬉しかったと話していました。来年度も継続してほしい事業です。</p>	<p>【館内事業について】 ブックリサイクルフェアについては、利用者から好評をいただいております。継続してまいります。</p>

ご意見の概要	事務局回答
<p>① アウトリーチ活動の中に高齢者向けの読書啓発を視点に入れた蔵書貸出の活動を入れてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人介護施設への蔵書貸出の働きかけ ※要支援者も入居している中規模以上の施設を対象として。 ・市内認知症カフェへの蔵書貸し出しの働きかけ 市内には11か所の包括支援センター及び幾つかのランチがあり、定期的に交流の場を設けているところがあります。(例:大野地区)1か月に1度の開催であれば、読書に興味を持つ参加者への貸出・返却が可能であると予想されます。まず、定期的に開催しているところへの貸出を検討してほしいと思います。 	<p>【アウトリーチ活動について】</p> <p>○市民図書館では、大活字本を積んだ移動図書館の巡回や市内12か所の配本所の設置、予約図書を受け取りサービスや高齢者福祉施設などへの配本などにより、本館への来館が困難な高齢者にも図書に触れられる機会の提供を行っております。</p> <p>○認知症カフェなどへの貸出に関するご意見につきましては、こうした既存サービスの活用を図りながら、高齢者支援課などの関係機関と調整してまいります。</p>
<p>② 各年度のデータを分析することで、特に高齢者が興味を示している分野を特定できれば、次年度選書の参考とすることができます。それは高齢者の読書意識を高める一つの手立てとなるので実施して欲しい。</p> <p>※貸出密度は送付していただいたデータで評価できるのではないかとと思うのですが、蔵書回転率については残念ながらいただいた資料では難しいです。前回の協議会では館長さんが業者にデータがあるのではないかとお話ししていました。多分次年度購入する図書を選書するときには、前年度の読書傾向を調べておられると思いますが、是非とも第2区分までの蔵書回転率を出した上で、必要に応じて第3区分を分析することで、65歳以上の青森市民の読書傾向が見えてくるのではないかと考えます。</p> <p>それをもとに高齢者向けの図書の選書や整備が可能となるのではないかと考えます。</p> <p>市内には11か所の市民センターがあります。分析結果を基に、市民図書館のみならず各市民センターに設置された図書室においても、高齢者が興味を持つ図書資料が整備されることが、青森市民全体の読書意欲を高めるのではないかと考えます。</p>	<p>【高齢者向けの選書について】</p> <p>○市民図書館の令和7年度(2月末現在)図書資料の貸出状況によると、70歳以上の割合が全体の30%を超え、次に60歳代が18.2%となっており、半数近くを占めています。多くの高齢者の方にご利用いただいております。</p> <p>利用が多い年代順:70歳以上・60歳代・40歳代・50歳代・30歳代・小学生・6歳以下・20歳代(19歳含む)・中学生・高校生</p> <p>○市民図書館では、NDC(日本十進分類法)第1次区分である総記・哲学・歴史・社会科学・自然科学・工学・産業・芸術・言語・文学に加えて、日本の小説・絵本・紙芝居の13項目に分けて貸出データを分析しております。70歳以上の方の貸出が最も多いのは「日本の小説」で46.4%、93千冊、次に「文学(日本の小説・随筆を除く)」の35.8%、11千冊余り、「歴史」の27.6%、1万冊余りとなっており、今後も引き続き利用が多い図書の充実に努めてまいります。</p>

ご意見の概要	事務局回答
<p>1 管理運営について (4)窓口等業務 ・管理委託の理由は？ 業者への委託ではなく、図書館の正規職員として当館の蔵書に関するしっかりとした知識を持つ人を育ててほしい。</p> <p>2 館内事業について (4)廃棄図書の無償譲渡 ・どのような所にどの程度呼びかけをしたのか。公民館や老人施設等へは行なったのか。必要としているところは多いと思われる。 ・また、市内の学校(小・中・高・特別支援)にブックリサイクルフェアの開催を知らせるポスター等を配布し、多くの子どもたちの利用を促してほしい。リサイクル本であっても、「自分だけの本」を持つことは大切なことから。</p> <p>5 令和8年度 青森市民図書館協議会について ・令和9年2月に予定されているが、雪は大丈夫か。年度の終わりのまとめということなのだろうが、昨年も今年も雪による交通障害で大変だった。また、令和8年中には行わないのか。</p>	<p>【管理運営について】 ○市民図書館では、現在、窓口等業務を委託しておりますが、図書資料の選定等の蔵書に関する業務は司書資格を有する市職員が行っております。</p> <p>○人材の育成につきましては、日常業務を通じた経験や県立図書館・日本図書館協会等が主催する研修を通じて、継続して職員のスキルアップを図ってまいります。</p> <p>【廃棄図書の無償譲渡について】 令和7年度は、市内の小学校(42校)、公立中学校(19校)、つどいの広場「さんぽぼ」へ廃棄図書の譲渡についてお知らせしました。 ブックリサイクルフェアの周知については、ポスター掲示、チラシ配布のほかにホームページや広報あおもりに掲載しておりますが、より効果的な広報について検討してまいります。</p> <p>【協議会開催時期について】 ○今後の協議会の開催時期につきましては、積雪状況に左右されない時期を検討し調整させていただきたいと考えております。改めてご連絡いたします。</p>